

事業の目的・概要

【目的】

「新しい東北」の実現に向け、被災地で既に芽生えている先導的な取組を育て、被災地での横展開を進め、東北、ひいては日本のモデルとしていくため、先導的な取組を幅広く公募し、支援することを目的としています。

【概要】

(1) 応募資格

復興に取り組む法人・団体であれば、以下の2点の他、特段の制限はありません。

- ・ 企業単独、地方公共団体単独での応募はできません。
- ・ 下記②プロジェクト事業は、被災地の法人・団体が構成団体に含まれる必要があります。

(2) 募集する提案

平成26年度「新しい東北」先導モデル事業では、以下の2区分において提案を募集します。

- ① 横断的課題支援事業（詳細はP. 2を御参照ください）
- ② プロジェクト事業（詳細はP. 3、P. 4を御参照ください）

※ この他、平成25年度「新しい東北」先導モデル事業に選定された法人・団体を対象に、「継続事業」の提案も募集。

(3) 支援対象となる取組・経費の範囲

取組の立ち上げ段階において必要となるソフト面の取組を包括的に支援します。

（施設整備等のハード事業は対象になりません。）

支援対象例： 関係者の合意形成に向けたシンポジウム・ワークショップ等の開催に関する経費
取組の検討や効果検証に必要な人件費や専門家招聘の経費 等

(4) 選定に向けた手続

選定基準に則り、復興推進委員等の有識者からの意見を踏まえた上で、支援対象事業を選定します。

※本事業の公募は、平成26年度予算の成立が前提となります。1

①横断的課題支援事業の公募について

1. 募集する提案

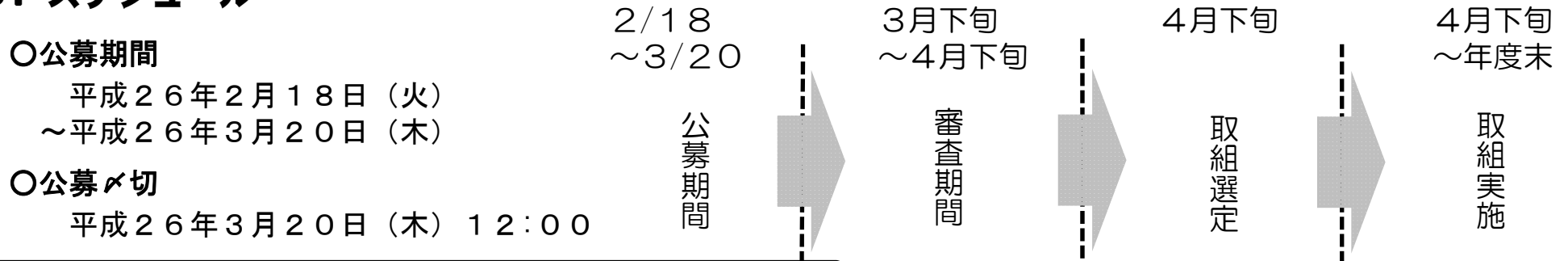
被災地では、リーダーとなる人材の育成・確保や起業・新事業の創出に向けた支援等、各種取組・事業に横断した課題が存在します。こうした横断的な課題の解決に向けた支援を行う取組を募集します。

(選定件数は数件程度を想定)

2. 選定基準

- ① 先導性・モデル性 … 先進的な発想や手法の活用、他の参考となり得る取組内容
- ② 持続性 … 将来にわたり持続的に実施可能な取組内容
- ③ 相乗効果・波及効果 … 取組の発展に向けた、多様な連携先の確保や効果的な情報発信
- ④ 主体性 … 地域の関係者を巻き込んだ実施体制の構築
- ⑤ 計画性・実現可能性 … 明確かつ具体的な取組内容、無理のない取組スケジュール
- ⑥ 効率性 … 取組の目的・規模に照らして、適切と考えられる必要経費

3. スケジュール



参考：平成25年度モデル事業における選定案件例

人材育成

地域の課題解決に取り組む人材の育成

被災地で課題となっているテーマを使った実践的なワークショップ等を通じて、地域の課題解決に長期的に取り組んでいく人材を育成。

IT活用支援

被災地におけるICTの利活用支援

被災事業者のICTの利活用(Webサイトの構築等)を促進するため、全国の専門人材・企業の支援を被災地に結び付けるマッチングを実施。

起業支援

地域を支える起業家の育成・支援

地域を支える起業・創業の支援に向け、地域資源を活用したマッチングやベンチャーファンドといった仕組みを構築。

②プロジェクト事業の公募について（1）

1. 募集する提案

以下の5分野に関して、復興推進委員会における議論の状況に即したプロジェクトを募集します。

元気で健やかな子どもの成長を見守る安心な社会
(子どもの居場所づくりや教育環境の整備など)

「高齢者標準」による活力ある超高齢社会
(自立のための生活支援、健康支援、地域医療など)

持続可能なエネルギー社会（自律・分散型エネルギー社会）
(再生可能エネルギーやスマートコミュニティの導入など)

頑健で高い回復力を持った社会基盤(システム)の導入で先進する社会
(住民が主体となった防災活動やコミュニティの再生など)

高い発信力を持った地域資源を活用する社会
(価値共創ビジネスの推進、豊かな観光資源の活用など)

2. 選定基準

- ① 先導性・モデル性 … 先進的な発想や手法の活用、他地域にとって参考となり得る取組内容
- ② 持続性 … 将来にわたり、地域で持続的に実施可能な取組内容
- ③ 相乗効果・波及効果 … 取組の発展に向けた、多様な連携先の確保や効果的な情報発信
- ④ 主体性 … 地域の関係者が主体となった実施体制の構築や人材育成の実施
- ⑤ 計画性・実現可能性 … 明確かつ具体的な事業内容、無理のない取組スケジュール
- ⑥ 効率性 … 取組の目的・規模に照らして、適切と考えられる必要経費

3. スケジュール

○公募期間

平成26年4月 1日（火）
～平成26年4月18日（金）

○公募〆切

平成26年4月18日（金） 12:00

※ 公募要項は3月中旬頃に確定する予定です。

4/1～4/18

4月～6月中

6月下旬

6月下旬～年度末

公募期間

審査期間

取組選定

取組実施

②プロジェクト事業の公募について（2）

参考：平成25年度モデル事業における選定案件例

子どもの成長

子どもの成長を育む地域の遊び場づくり

地域のプレーリーダーによる遊び場づくりのモデル化と、公園等の身近な遊び場のあり方を検証。



高齢社会

「次世代型地域包括ケア」の推進

24時間対応の在宅医療・看護・介護等を目指し、自治体・NPO等が協働し、多職種連携システムを構築。



高齢社会

コミュニティ・サポートセンターのモデル化

地元の高齢者自身の社会参加による共助的なコミュニティ支援（高齢者の健康づくり、子育て支援等）を推進する拠点のモデルを構築。



エネルギー

温泉熱を活かした六次化産業創出

植物工場や養殖施設において、温泉熱のエネルギーを活用した、新たなビジネスモデルを構築。



社会基盤

地域課題に応じた防災訓練モデル化

地域の危機管理能力向上を目指し、地域課題に応じた住民参加による避難訓練手法等のモデルを構築。



地域資源（一次産業）

中山間地域における植物工場の活用

中山間地域の農業の所得向上を目指し、路地栽培では大規模化ができないところ、従来の品種に加え、植物工場を活用し、品種の拡大を検証。



地域資源（観光）

「旅館」のブランド価値向上

グローバル市場における旅館の価値向上を目指し、海外からの予約が可能な旅館専用の予約サイトや、海外の旅行会社等との商流を活性化させる在庫管理システムを導入。



地域資源（ものづくり・IT）

伝統技能継承と先端技術の融合によるなりわい再生

地域のものづくりの発展を目指し、伝統技能と先端技術を融合させ、新製品を開発。その際、障害者や高齢者の社会参画を促進。



地域資源（環境）

「三陸ジオパーク」の観光資源化

三陸沿岸という広域の地質・地形に新たな付加価値を見出し、水産業や自然景観等の既存の資源と併せ、新たな観光資源化。

